

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 9 月 3 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	18	食事作りなどつい職員だけでしてしまうことがあり一緒にという事が出来ていないことがある。	食事作りなど今まで主婦としてされていた事を出来るかぎり手伝って頂き、より一層コミュニケーションを深め、利用者の方から自然に協同生活者の自覚が出て本人の力の発揮を支援する。	買い物、献立、洗う、きる、味見などそれぞれの出来るところ、出来る事を一緒に寄り添いながら楽しく笑顔でおこない、職員との関係性を高めながらホームの住人としての役割作りを行なう。	6ヶ月
2	37	誕生日など年間の行事の過ごし方を自己決定してもらおう努めているが、なかなかその方の思いを引き出しにくく同じ形になってしまう。	年1回の大切な誕生日には希望を叶え幸せの感動を届けたい。	居室担当者が何ヶ月も前からさりげなく本人に尋ねたり、色々な事を聞きだし、家人とも相談の中で職員で話し合いを重ねて実行に移す。	6ヶ月
3	48	役割や楽しみごとの支援として個人差があり十分に1人1人の生活暦や力を生かしていない。	1人1人の生活暦や力を活かした役割を引き出し楽しみのある生活を創る。	入居者の思いや生活暦を大切にしたら暮らしを行う為に、本人の思いをゆっくりと聴き察し、再アセスメントしケアプランに位置づけていく。	6ヶ月
4	26	ケアカンファレンスを1～2回／月行いケアプラン、モニタリングを行っているが、本人家族の意向は十分に反映できていない。	本人、家族の思いを大切にしたらケアプランを作成していく。	計画の見直し前や家族との情報交換時、詳細に聴き取り出来るシートの作成を行い意向を反映していく。	6ヶ月
5	11	運営に関する職員意見の反映において提案を聞く機会はあるが実施しにくい。	職員や関係者との情報交換、コミュニケーションを図り理解と協力を得る。	毎月1回職員定例会議他個人面談を随時行い、職員の思いや意見を聞く機会を設け、小さい事から実施していく。	6ヶ月